

製品名: RGS16 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17092**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	RGS16
別名	RGS16; RGSR; Regulator of G-protein signaling 16; RGS16; A28-RGS14P; Retinal-specific RGS; RGS-r; hRGS-r; Retinally abundant regulator of G-protein signaling
遺伝子 ID	6004.0
SwissProt ID	O15492
免疫原	抗血清はヒト RGS16 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

背景

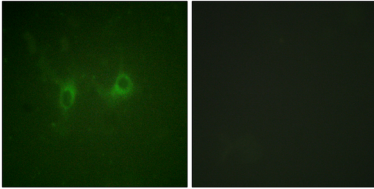
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、「G タンパク質シグナル伝達調節因子」ファミリーに属します。G タンパク質 α サ

βユニットの GTPase 活性を上昇させることでシグナル伝達を阻害します。また、光情報伝達カスケードにおけるシグナル伝達の実験的制御にも関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: G タンパク質 α サブユニットの GTPase 活性を上昇させることでシグナル伝達を阻害し、それらをおとなしい GDP 結合型へと誘導します。G(i)-α および G(o)-α には結合しますが、G(s)-α には結合しません。光情報伝達カスケードにおけるシグナル伝達の実験的制御にも関与している可能性があります。、PTM: Cys-2 および/または Cys-12 がパルミトイル化されています。、PTM: EGFR 刺激により Tyr-168 がリン酸化されます。G(i)-α に対する GTPase 促進(GAP)活性が強化されています。、類似性:1 つの RGS ドメインを含みます。、組織特異性:網膜に豊富に発現し、他のほとんどの組織では発現レベルが低くなります。、

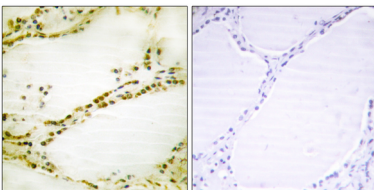
研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; G タンパク質シグナル伝達; 低分子 G タンパク質; 調節因子

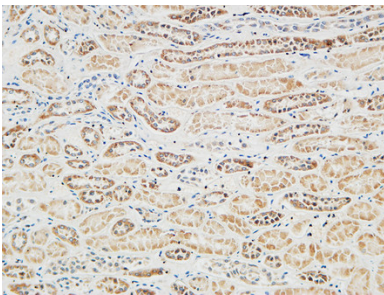
画像データ



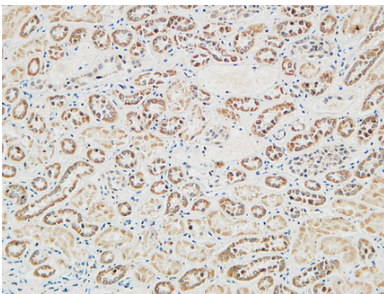
RGS16 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



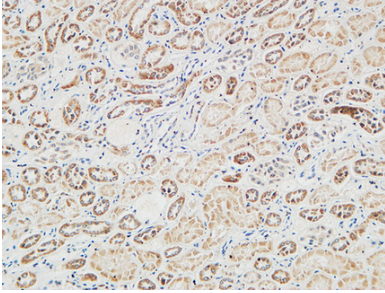
RGS16 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト甲状腺組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



パラフィン包埋ヒト右腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト右腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト右腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。